KSU
九州産業大学
KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

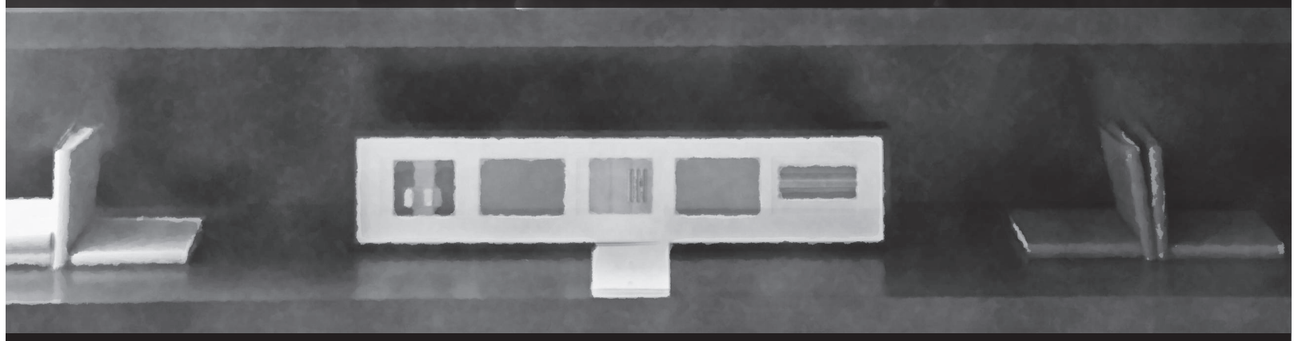
高校生作品募集

第24回 九州産業大学 建築設計競技

【課題】

「物と対話する住まい」

～物と住まいと人の関係を再考する～



［主催］九州産業大学　〒813-8503 福岡市東区松香台2丁目3番1号 TEL.092-673-5050(代表)

第24回 九州産業大学建築設計競技

目　的

この建築設計競技は、高等学校で建築やインテリアデザインを学ぶ生徒諸君が、日常の勉学の中で、建築設計について研鑽努力を重ねたその成果を発表する場を提供するために開催するものです。

1. 課　題

「物と対話する住まい」
～物と住まいと人の関係を再考する～

あなたの住まいは、物が溢れていませんか？世界的に見ても、どうやら、日本人は物を多く持ちすぎているようです。

地球上の生物で、物を使うのは人間以外にもいます。しかし、これだけの複雑な物を使いこなし、また、物そのものに意味を与えているのは人間特有ではないでしょうか。例えば、亡くなった大切な人の物を、思い出が詰まった遺品として大切にするのは人間だけです。また、幼い頃のお気に入りのおもちゃは、その頃を思い出すタイムカプセルのようなものかもしれません。

最近では、物が溢れている住まいのほうが多いようですが、物が全くない暮らしは成立できません。物は人々の暮らしに不可欠なものであり、単なる物質を超えた人々の心象を映し出す物でもあるのです。

例えば、デンマークでは、高齢者用住宅に移り住むおじいちゃん、おばあちゃんは、使い慣れた家具や日用品を運んで来て、今までの暮らしを継続させています。日本でも被災された方々の多くが、住み慣れた家での家財道具を仮設住宅に持ち込み、思い出の詰まった物を「心のよすが」としています。

物との関係を考えるには、少し、自分の身の周りをイメージしてみましょう。例えば、お気に入りの椅子を置くのは、どんな場所がいいでしょうか？椅子に腰掛けている自分を想像してみてください。座ったままで手に届く範囲にある物は何ですか？眼に映るところにはどんな物がありますか？他の家具との距離感を含め、その空間にどのように物が置かれていたら、居心地がいいのでしょうか？インテリアを含めて、考えてみてください。

収納が足りないと嘆くだけでなく、簡単に物が手に入る時代だからこそ、「もったいない」と物を大事にしてきた昔の日本人の暮らしに想いを馳せたり、お気に入りの家具や日用品に囲まれて暮らす楽しみを想像してみましょう。その上で、物が溢れる住まいの中を眺めて、「物」との関係性を改めて見直してみませんか？物と住まいと人の距離感を再考することで、「物と対話する住まい」を提案してください。

2. 設計条件

●提案する住まいは、独立住宅、共同住宅や、新築、リフォームなど自由に設定してください。

●人と物、空間を含んだかたちで住まいを提案したのであれば、建築物に限らず、インテリア、もしくは家具エレメントに特化した提案も可とします。

●敷地、規模、構造、外構、家族構成などについては応募者の自由とします。

3. 提出図面

①要求図書

●作品タイトル：設計内容を的確に示すタイトルをつけてください。

●設計主旨(コンセプト)：物と住まいの関係性を考え、どのような暮らしや住まいを提案したのかを中心に、敷地条件、家族構成なども含めて、設計のねらいを分かりやすく表現してください。

●図面など：付近見取り図、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真など、設計内容を効果的に示すものを適宜選択してください。縮尺は自由とします。
（インテリアや家具エレメントに特化した提案の場合は、付近見取り図、配置図は不要ですが、どのような立地なのかなど、環境条件を記載してください。）

②用紙・仕上げ方法

●要求図面をB2判（728mm×515mm）の用紙1枚に表現してください。
紙質は自由ですが、用紙サイズは厳守してください。
規格外の提出図面は審査対象としません。

●仕上げ方法は自由です。図面などのレイアウトは、設計内容がよく伝わるように工夫してください。

●図面はパネル化せず、ボードなどに挟むか筒に入れて提出してください。提出図面は原図に限ります。

4. 応　募

①応募資格

高等学校の建築科、デザイン科、インテリア科、工芸科、環境デザイン科あるいはこれに準ずる学科の在籍者とします。応募作品は個人制作とします。共同制作は認めません。応募はひとり一作品とします。

②質疑応答

応募要項にないものは応募者の判断によるものとし、質疑応答は行いません。

③提出期限

2016年9月2日（金）

※提出は郵送とし、同日消印までを有効としますが、規定の期限を厳守してください。

④提出先

〒813-8503　福岡市東区松香台2丁目3番1号
九州産業大学建築設計競技審査委員会
電話 092-673-5786

⑤提出方法

提出図面に所定の応募用紙(コピー可)を添付して提出してください。**提出図面には提出者の氏名、所属高等学校名などは一切記入してはいけません。氏名等の記載のある提出図面は審査対象としません。**

5. 審　査

①審査員

九州産業大学工学部建築学科および住居・インテリア設計学科全教員

審査委員長　松野尾　仁美　准教授

②入賞発表

2016年9月30日（金）

審査結果については、本学ホームページに掲載するとともに、応募者に直接通知します。
また、本学大学祭期間中の2016年11月3日（木）～11月6日（日）に、入賞作品を展示します。

③授賞式

2016年11月6日（日）

本学において行います。授賞式に出席する一等、二等、三等までの入賞者および一等、二等入賞者の指導教諭の交通費（本学の規定に準ずる）は本学で負担します。
当日、審査委員長による講評を行います。

6. 入賞賞品および入試出願

①入賞賞品：一等、二等、三等、佳作

下記の入賞者に賞状および賞品を贈呈し、あわせて副賞を入賞者が在籍する高等学校に寄贈します。
なお賞品および副賞は、図書カードとします。
また応募者全員に参加賞を贈ります。

一　等	1点（賞品12万円　副賞3万円）
二　等	2点（賞品　6万円　副賞3万円）
三　等	3点（賞品　4万円　副賞3万円）
佳　作	約12点（賞品 2万円）

②入試出願

佳作を含めた入賞者は、出願の条件を満たしている場合、本学建築都市工学部 建築学科または住居・インテリア学科（届出設置書類提出中）のAO入試Ⅱ期に出願することができます。（なお、詳細については、本学学生募集要項を参照のこと） また、三等以上の入賞者で本学入学試験に合格された方は、九州産業大学フレッシュマン・スカラシップ（特別枠）の対象となります。
【詳細は入試課（電話092-673-5550）までお問い合わせください】

7. 図面の返却

応募作品は入賞者を除き、入賞発表後3カ月以内に提出図面のみ高等学校宛に一括して返却します。一括返却までの間の返却要請には応じられませんので、文化祭などで提出図面が必要になると予想される場合は、予めカラーコピーをとっておいてください。
入賞者の公開（展示・出版）については、本学の判断で行うことができることとします。

KSU KYUSHU SANGYO UNIVERSITY 九州産業大学

応募要項と応募用紙は、本学ホームページ http://www.kyusan-u.ac.jp/ からダウンロードできます。